



# ウォータースポーツエイド

## 2010年度 助成事業募集のご案内



申請受付期間 2009年 **12月1日** 火 ▶ 2010年 **1月31日** 日 **消印有効**



### 全国の水辺のスポーツ活動、応援します!

『誰もが安心して楽しめる水辺の環境づくり』を目指して

- わが国では、海・川・湖沼等、「水」に関わるウォータースポーツが依然活性化されていない状況にあります。要因としては、体験機会が少ないことや、水への不安や恐怖感が活動意欲を阻害、用具が高価、水域の規制による活動場所の制約などが考えられます。
- 「ウォータースポーツエイド」は、スポーツ団体等が行う水辺（海・川・湖沼）のスポーツ活動に対する助成制度であり、ウォータースポーツの《普及》、活動者の《安全》、活動の《拠点づくり》という3つの視点から事業を推進しています。子どもをはじめ人々の“水離れ”が進む昨今、2010年度のウォーター

スポーツエイドは、「水に親しむ子どもたちを多く育てること」を目的とした事業や、拠点づくりという観点から港やマリナ等の既存施設を活用した事業を積極的に支援して参ります。

- 笹川スポーツ財団(SSF)では今後もウォータースポーツエイドを通じて、全国のスポーツ活動を応援し、「誰もが安心して楽しめる水辺の環境づくり」を目指します。ウォータースポーツエイドがスポーツ団体の事業活動や、地域振興、健康づくりに少しでもお役に立ち、老若男女たくさんのすてきな笑顔が日本中にあふれることを願っています。

## 募集概要



**事業対象期間** 2010年4月1日(木)～2011年3月31日(木) に実施される事業が対象となります。

- 申請対象団体**
- 規約・会則等の取り決めがあり、適切な経理処理ができるスポーツ団体等
  - 普及・安全用具の配備助成は、団体設立後5年以上が経過、年間5事業以上の普及事業を実施している団体
  - 法人格の有無は問わない。

- 申請方法**
- 所定の「助成金交付申請書」に必要書類を添え、申請受付期間内にご提出ください。
- ▶申請書をご希望の際は、最終頁の「申請書類請求申込書」に必要事項をご記入の上、事務局までお送りください。
  - ▶申請書は当財団のホームページからもダウンロードができます。(http://www.ssf.or.jp/)
  - ▶申請書の作成方法は、「申請の手引き」をご参照ください。(同様にホームページからダウンロード可)

**審査結果** 審査:2010年3月中旬 通知:2010年4月上旬 [郵送]

※申請内容のご相談やご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にご連絡ください。



# ウォータースポーツの普及・安全を目的とした事業活動への助成

ウォータースポーツの普及・安全を目的とした事業活動（大会・教室・機材等整備）に対する助成

[助成限度額] 原則 **200万円** [補助率] **90%以内**

対象事業  
(例)

- ウォータースポーツ好きの子どもたちを増やすことを目的とした事業
- 親子や家族を参加対象とした事業
- ジュニアの育成・技術力の向上を目的とした事業
- 指導者やボランティアの育成・スキルアップを目的とした事業
- 短・長期のウォータースポーツキャンプ事業
- 老若男女、多くの人が気軽に様々なウォータースポーツを楽しむことができる事業
- 安全に関する知識や技術の習得を目的とした講習会事業
- ウォータースポーツの普及や安全活動に必要な機材(器材)・備品の整備に対する助成 など



[助成対象経費] 人件費、交通費、宿泊費、会場費、消耗品費、印刷費、製作費、広報費、通信運搬費、賃借料、備品購入費、保険料



# 普及・安全用具の配備助成

助成金の交付ではなく、スポーツを行う人への安全確保を目的とした下記物品の配備助成

一日でも多く水に親しもう!

## ① ウエットスーツ&ライフジャケット

[配備数] **20団体**

ジュニア用のウエットスーツとライフジャケットの配備を通じて、子どもたちがウォータースポーツに親しむ機会と安全を提供します。

- 1団体に対して各20着を提供
- サイズは全てジュニア用



暑さ対策、一時的な活動拠点に!

## ② スポーツテント

[配備数] **10団体**

スポーツを行う人を日射病や熱射病から守ること、事業実施時の一時的な活動拠点となるスポーツテントを提供します。

- 1団体に対して2.5m×2.5mの総アルミ製折りたたみ式テントを2張提供



万一の事故に備えて!

## ③ 自動体外式除細動器(AED)

[配備数] **10団体**

安心してウォータースポーツに取り組めるよう、持ち運び可能なAEDを提供します。

- 可動式収納ケース付 [防塵防水]



### 普及・安全用具の配備助成への申請条件

- (1) 団体設立後5年以上が経過している団体であること。
- (2) 年間5事業以上の普及事業を実施している団体であること。
- (3) 物品の必要性が具体的かつ明確であること。
- (4) 地域内の他団体との連携を積極的に実施している団体であること。
- (5) 地域内や他の行事等で広く活用されることが期待できること。



## SSFウォータースポーツプロジェクト

SSFが掲げる『水に親しむ環境づくり』に向けた以下のプロジェクトに対する助成。本プロジェクトは、2010年度から新規に導入するもので、SSFの重点支援事業に位置付けています。

【助成限度額】原則 **200万円** 【補助率】 **90%以内**

### I 水辺に親しむ体験学習プロジェクト

学校や地域子ども(幼児～高校生)・親子を対象に、水辺に親しむ体験学習的な要素が盛り込まれ、様々なウォータースポーツ活動等を通じて、海・川・湖沼などの水辺に対する正しい理解や関心を深めることにつながる事業に対する助成です。例えば、ウォータースポーツや自然環境への親しみが醸成されることが期待できる、新しい形の「臨海学校」などの事業を募集します。事業主体者となるスポーツ団体等が、学校や地域、SSF等と連携し実施する取り組みをこのプロジェクトの対象とします。

#### 対象事業 (例)

- 小学校の5年生児童を対象とした「ワンデーマリンスポーツ体験教室」
- 中学校と○○協会が連携した「サマーウォータースポーツキャンプ」
- 高校全校生徒を対象とした「カヌー教室&安全講習会」
- 地域の親子を対象とした「マリンスポーツ学校」 など



【助成対象経費】 人件費、交通費、宿泊費、会場費、消耗品費、印刷費、製作費、広報費、通信運搬費、賃借料、備品購入費、保険料

### II 水辺の拠点づくりプロジェクト

マリナーや港、競艇場等の既存施設を利活用して行われる事業に対する助成です。例えば、マリナーを利用したマリン体験教室や、競艇場を利用した水泳大会などの事業を募集します。SSFでは、ウォータースポーツエイドをきっかけに、このような既存施設が、地域スポーツ団体等の活動場所(拠点)として継続的に使用され、ウォータースポーツが各地で定着することを願っています。

#### 対象事業 (例)

- マリンスポーツフェアin○○海の駅
- 港を使用した親子マリンスポーツデー
- オープンウォータースイミングin○○競艇場 など



平和島競艇場での水泳イベント

【助成対象経費】 人件費、交通費、宿泊費、会場費、消耗品費、印刷費、製作費、広報費、通信運搬費、賃借料、備品購入費、保険料

#### 交付事業紹介

2009年度は、以下の事業をはじめ約100事業がウォータースポーツエイドの交付事業として実施されました。

詳しくは、笹川スポーツ財団のホームページでご紹介しています。▶ <http://www.ssf.or.jp/>

#### レジェンド松山 ウォーターフェスタ

- 2009年8月2日(日)、9月6日(日)
- 愛媛県・国立大洲青少年交流の家、モンテッチ海岸

【交付額】  
**35万円**

#### 小学生の親子を対象に「楽しさ」と「安全」をテーマにした親水プログラム

子どもたちにとってスイミング教室や学校の授業等でプールで泳ぐ機会が多い反面、自然の中で水とふれあう体験が少なくなっている。泳ぐこと以外の体験をさせたいが専門の道具や知識がないといった理由で二の足を踏んでいる保護者にきっかけを提供し、ウォータースポーツの楽しさを体験してもらい、同時に命にかかる怖さも混在していることも認識してもらい、危険回避の知識や技術習得を目的とする。「川の部」ではカヌー講習や流れの中での泳ぎ方等、「海の部」ではヨット操船を中心にその仕組みや特性等を学ぶ。着衣泳法や身近なものを使った救助法等の講習も実施、水への楽しさと安全知識の習得をテーマとした親水導入プログラム。

主催：NPO法人レジェンド松山



#### 妙高ジュニアチャレンジキャンプ2009 ～妙高ジュニアアドベンチャー～

- 2009年7月26日(日)～8月9日(日) 14泊15日
- 新潟県・妙高市、長岡市、佐渡市 長野県・小谷村

【交付額】  
**200万円**

#### 小年生を対象とした長期スポーツキャンプ

小学4年生から6年生までの男女20名を対象とした14泊15日の長期スポーツキャンプ。新潟県・妙高市から柏崎市までマウンテンバイクで移動(約120km)、そこから佐渡島への海峡をシーカヤックで横断(約40km)。佐渡島では島1周(180km)をマウンテンバイクでツーリングするという壮大なスケールで実施。国立妙高青少年自然の家が蓄積している青少年を対象とした長期キャンプのノウハウをフルに活用し、子どもたちに、目標に向かって努力することの大切さと成し遂げた時の達成感を体験させることを目的としている。

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家



## Message

5月5日、子どもの日に行われた少年野球教室。生憎の雨模様だったが、そんなことを気にしているのは大人たちだけだ。子どもたちは、それぞれのポジションに散らばって練習が始まるのを今か今かと待っている。20人程集まったキャッチャーを指導するのは、プロ野球でも活躍されたAさん。「さあ、みんな集まってくれ!この中で自分からキャッチャーになりたくてなった人は手をあげてくれるかな?」。すると、半分の子が手をあげて、残り半分の子が申し訳なさそうに下を向いた。「キャッチャーは、立ったり座ったり大変なポジションだ。ケガをすることだってある。そんなポジションを自分から買って出た人はエライ!」とAさん。では人にすすめられてなった人はダメなのか?

Aさんが続ける。「監督やコーチから勧められて、キャッチャーになった人。君たちは、大事なキャッチャーというポジションを誰よりもしっかり守ってくれそうだと監督やコーチから任された人たちだ。素晴らしい才能があるんだから自信をもって取り組みましょう!」



こんな言葉をかけられて、子どもたちが張り切らないはずがない。みんながその気になって雨の中でも喜々としてプレーしていた。子どもの頃にかけられる言葉。子どもの頃に出会う環境。

ちょっとしたことで子どもたちはその夢を大きくふくらますことができる。スポーツエイドもウォータースポーツエイドも、そんなちょっとしたことを応援したいと思っている。



SSFスポーツエイド審査委員長  
青島 健太

あおしま けんた  
スポーツジャーナリスト。1958年4月7日新潟県新潟市生まれ。慶応大、東芝を経て、'85年ヤクルトスワローズに入団。公式戦初打席で初本塁打を放つ。'89年に退団後、オーストラリアで日本語教師を務める。帰国後、ライター及びキャスターとしてスポーツの醍醐味を伝えている。2004年からスポーツエイドの審査委員長を務めている。

### ■ ウォータースポーツエイドの申請に関する注意事項

- I. 助成対象外事業** ①申請するスポーツ団体が主催もしくは主管しない事業 ②他の助成金を受けて実施する事業(日本スポーツ振興センター助成金(toto)、福祉医療機構基金助成金、日本財団助成金、他の公営競技等の助成金、国の補助金等) ③企業の宣伝色の強い事業(冠大会) ④中・高体連、学連事業、学校の部活動 等
- II. 後順位事業** ①対象者が特定者に限定されている事業(強化合宿等) ②スポーツの要素が低い事業 ③総事業費が1,000万円を越える事業 ④受益者負担の考え方に反する事業 ⑤営利目的の要素が強い事業 等



## 2010年度 ウォータースポーツエイド 申請書類 請求申込書

**FAX : 03-3580-5968 笹川スポーツ財団 宛** ※このままFAXしていただければ結構です。

フリガナ			
団体名			
申請希望区分 (□にチェックしてください)	<input type="checkbox"/> ウォータースポーツの普及・安全を目的とした事業活動への助成 <input type="checkbox"/> 普及・安全用具の配備助成 <input type="checkbox"/> SSFウォータースポーツプロジェクト		
フリガナ		フリガナ	
担当者		役職	
書類送付先	〒 -	TEL	( ) -
		FAX	( ) -
		E-mail	@
通信欄			

#### [個人情報保護に関する事項]

当財団がウォータースポーツエイドの助成事業に関して取得する個人情報は、選考作業や助成の採否の通知等、本申請に関する事業に必要な範囲に限定して取り扱います。

### ■ お問い合わせ

※申請内容のご相談やご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にご連絡ください。

**笹川スポーツ財団 業務部**

ウォータースポーツエイドチーム 成瀬・竹下

〒105-0001東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル5階  
TEL:03(3580)5854 FAX:03(3580)5968 aid@ssf.or.jp  
ウォータースポーツエイドに関する詳細は、  
当財団のホームページで詳しくご紹介しています。

<http://www.ssf.or.jp/>

SPORT FOR  
**every one**

すべての人にスポーツの楽しさを